

コロナ禍を乗り越えるさらなる補正予算に向けて8月臨時会を開催

安心・安全な市民生活のために

松戸市議会では、通常、3月・6月・9月・12月と、年に4回の定例会を開催しています。その中で、市から提案された各議案や、議員提出による議案などについて審査を行います。

市民の暮らしを支える各政策を実行するための予算は、その多くが一般会計という枠におさめられています。そして、この一般会計をはじめ、特別会計や企業会計の当初予算は、3月議会で一括審査を行うことが慣例となっているのです。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大にともなう、市民生活を安全に送るための政策が、とてもたくさん必要となっています。そして、その額は、当初予算の流用や予備費の活用、いわゆる市の貯金にあたる財政調整基金からの支出ではとても賄いきれません。

そのため、追加で多額の費用を必要とする政策を補正予算として議会に提出し、これを議決することでコロナ対応の政策を実現させています。そして、8月3日には臨時議会を開催し、新たな補正予算の執行に向けて審査をすることとなりました。



子どもたちの学習環境を守る

新型コロナウイルスの拡大を防ぐために、全国的に「3密回避」の取り組みが行われています。密閉・密集・密接を避ける行動を、多くの国民がしっかりと守っていることに、日本人の危機意識と規範を守る意識の高さを感じます。

しかし、仕方のないこととはいえ、集団生活や団体行動には、大きな制約が生まれています。子どもたちが暮らす学校も例外ではありません。松戸市のみならず、全国の学校が休校を余儀なくされ、学校に集い・学ぶことさえできない状況が続きました。

国による緊急事態宣言の解除を経て、子どもたちもようやく学校に通えるようになりました。しかし、3密を避けながらの学校運営を慎重に行う必要があり、以前のよう風景は戻っていません。

給食も、小規模の学校では従来通りの献立が提供されるようになりましたが、密が懸念される中・大規模校ではお弁当形式での配給です。食育の観点からも有意義な給食ですが、できれば温かい食事をとらせてあげたいものです。みんなが向かい合ってたのしく過ごせる、その日のために、いま必要な取り組みを安全第一の姿勢で展開し、この難局を乗り越えなければなりません。



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94